

第1回佐倉市部活動地域指導事業検討会 会議録（要録）

期 日 令和6年7月23日（火） 開会 午後3時00分  
閉会 午後4時20分

会 場 議会棟 全員協議会室

出席委員 青木 和浩委員、押尾 豊幸委員、齊藤 太郎委員、  
菊地 龍太委員、澤田 法義委員、志田 宗人委員、  
佐藤 啓子委員、緑川 義徳委員、宮崎 由美子委員、  
村上 武宏委員、榎本 泰之委員、舎人 樹央委員、  
遊佐 憲司委員

オブザーバー 千葉県部活動地域移行総括コーディネーター 濱谷 昌人 氏

傍 聴 人 3名

事務局 指導課 松原 和弘、小林 亜也子、谷野 研  
社会教育課 岩橋 一樹

## 1 開会

### 【司会】

本日はお忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

定刻となりましたので、只今より令和6年度第1回佐倉市部活動地域指導事業検討会を開催させていただきます。しばらくの間、進行を務めます指導課の松原でございます。

最初に、配布資料の確認をいたします。本日配布している資料は、

- ・ 会議次第
- ・ 令和6年度 佐倉市の部活動地域指導事業について
- ・ オークスベストフィットネス資料

以上、不足などございませんでしょうか。

なお、本日の会議の議事録を作成するため、会議の内容を録音させていただきますのでご了承ください。また、本日の会議には部活動地域指導事業業務委託を受託した、株式会社オークスベストフィットネスから3名の方にもご参加いただいております。

それでは、本検討会の設置要綱第6条の規定により、会議の議長は会長が行うこととなっておりますので、以後の進行を会長にお願いいたします。

### 【議長】

本日は皆様お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

教育部長の緑川と申します。よろしくお願いいたします。

それでは、次第によりまして進めさせていただきます。

### 【議長】

それでは、会議に先立ちまして圓城寺教育長から、ご挨拶を申し上げます。

(教育長挨拶)

### 【議長】

本日が最初の会議でございますので、顔合わせの意味を含め、委員の皆様から自己紹介をいただければと思います。恐れ入りますが、青木様から時計回りに自己紹介をお願いいたします。

(委員自己紹介)

### 【議長】

なお、本日は千葉県部活動地域移行統括コーディネーターの濱谷様にもオブザーバ

ーとしてご出席いただいております。濱谷様からも一言お願いいたします。

(オブザーバー自己紹介)

【議長】

また、令和6年度の委託事業者のオックスベストフィットネスからも3名ご参加いただいております。自己紹介お願いいたします。

(オックスベストフィットネス自己紹介)

【議長】

ありがとうございました。委員の皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

ここで、誠に申し訳ございませんが、教育長は他の公務のため退席させていただきます。

(教育長退席)

【議長】

引き続き、事務局の紹介をいたします。

(事務局自己紹介)

【議長】

最後に、本検討会会長を務めさせていただいております、教育部長の緑川でございます。よろしくお願いいたします。

【議長】

それでは改めまして、次第に従いまして、会議を進めてまいります。

本日の出席委員は13名で過半数を超えておりますので、会議は成立いたします。

なお、本日の会議につきまして「佐倉市情報公開条例」の規定により、会議は原則公開であり、事務局より本日の会議を公開することについて支えないとの見解も示されておりますので、公開となります。また、本日の会議には傍聴希望が3名ございます。傍聴人に入室していただきますので、しばらくお待ちください。

(傍聴人入室)

【議長】

傍聴人の方は、お手元の傍聴要領に従っていただきますようご協力をお願いいたします。

【議長】

それでは協議・報告事項に移ります。最初に佐倉市の部活動地域指導事業の進捗について、事務局から説明を求めます。

(事務局説明)

【議長】

ご説明、ありがとうございました。今年度は4月から地域クラブ指導者による指導が、市内11中学校、11クラブに拡大してスタートしたというのは大きなポイントかと思いますが、ご意見・ご質問などありましたらお願いいたします。

【議長】

ご発言がないようですので、先に進めさせていただきます。オークスベストフィットネスより4月からここまでの事業について報告をお願いします。

(オークスベストフィットネス説明)

【議長】

ありがとうございました。先程の事務局からの説明も含め、質問・意見等がありましたら、お願いいたします。

【委員】

オークスベストフィットネスの佐倉市地域クラブ活動指導員募集サイトの件につきまして、どの程度登録者数があるのか伺います。

【オークスベストフィットネス】

こちらのサイトですが、実際に稼働し始めてからは、特に宣伝をしておりませんが、大体40名ぐらいのアプローチがありました。

【委員】

今回登録しているのは、今、開設しているクラブチームの競技になるのでしょうか？

【オークスベストフィットネス】

はい。選択肢の中が今回の競技だけを載せておりますので、次年度以降でまた新し

い競技が加われば、選択肢の中にまた新しい競技を入れることとなります。

#### 【委員】

陸上競技については、現在、岩名陸上競技場が使用できませんが、大会前の練習を行うときに、ずっと校庭でやられているのでしょうか、それともどこかに移動して練習をするのでしょうか？ また、野球部などでは、顧問の先生が練習試合を組み、その練習試合の送迎を保護者が行っていますが、地域移行が進むことでどのようなスタイルになっていくのでしょうか？

#### 【オクスベストフィットネス】

陸上競技につきましては、今年は、岩名陸上競技場が改修中ということもあり、学校のグラウンドで行うことが多いのですが、成田市の中台陸上競技場などに移動し、本格的な練習を一定程度確保するなど、状況に応じた対応をしております。今年は野球の方は行っていないのですが、部活動から離れて地域のクラブという位置づけになった場合は、保護者や関係者の協力によって、会場まで移動するという事は出てくるのではないかとすることは想定として考えられます。学校部活動でも大会時は公共交通機関で移動ということもあるかと思いますが、保護者にもご協力をいただくことがあるかとも思いますので、できるだけその活動を踏襲しながら、地域の方に移行できるような形をイメージとしては持っております。

#### 【議長】

保護者向けアンケートの地域クラブ満足度について、満足とほぼ満足を合わせて62%とありますが、感覚的には少し満足度が低いのではないかとイメージがありますが、どのように分析をしているのか伺います。

#### 【事務局】

今回開始してまだ3ヶ月っていうところもございますし、回答にどちらでもないというところも設置しておりますので、このどちらでもないという保護者のご意見の中に、こういったところが改善されれば満足度がもう少し上がるのかなどという意見もございますので、そういったところの細かい分析も必要になるかなと思っています。

今後、そういったことをまたヒアリングですとか、もう少し掘り下げたアンケート

をしながら、60%程度の満足度は決して高くないですので、これがもう少し上がるように、事務局として検証しながら進めていきたいと思えます。ありがとうございます。

【議長】

満足度が上がるような取組を考えていただくとともに、アンケートの選択肢の関係で、逆にやや不満が5%しかいないので、「どちらでもない」を消してアンケートをとると、はっきり満足度がわかるかと思えます。

【議長】

続いて、推進計画について、事務局から説明を求めます。

(事務局説明)

【議長】

只今、推進計画について説明がございましたが、ご意見・ご質問などありましたらお願いいたします。

【委員】

オークスベストフィットネスにて今回、申し込みがされており、研修がしっかりやられており安心したのですが、研修を受けても、この方は指導に向いていないなと思われる方は一定数出てくると思うのですが、最終的には面接とか、そういったもので決めていくということはあるのでしょうか？

【オークスベストフィットネス】

現在、リモート面談をしています。そのうえで、指導を続けることができるか判断をさせていただいております。研修も受けていただいた後に、受けてみてどうだったかをこちらにあげてもらっています。そういった内容を踏まえて、指導ができる方かどうかを判断しております。中には紹介をさせていただいて指導員になる方も一定数おりますので、そういった方は紹介していただいた方に見ていただくなどして、できる限り情報を集めた中で、派遣をさせていただいております。

【委員】

学校の先生の中で、指導者に登録をされている方はいらっしゃるのでしょうか？

### 【オークスベストフィットネス】

佐倉市内の中学校は再任用の教諭の方がお一人いらっしゃいます。小学校の先生もいらっしゃいます。あと、千葉市の方も一部いらっしゃいます。

### 【委員】

本校は、検証の陸上競技部がありまして、2年目になります。まず、教職員の働き方改革の視点でかなり助けられており、先生方の負担が減っております。生徒と向き合う時間が増えたり、週の準備をしたりする時間を作り出すことができます。それだけでなく、実は今、ちょうど中学校の総合体育大会を開催しており、土日回ってきたのですが、陸上競技部では7種目で県大会に出場することができました。昨年度は、そこまで記録がなかったのですが、子供たちは、無理なく専門的な指導をしていただいて、本校の生徒は保護者ともども喜んでおります。7種目の県大会は、ぎりぎりというよりもかなり上位の結果を残しております。こんなことは今までなかったなというのが私の感想です。非常に無駄なくスリムに指導されていると思います。子供たちに直接聞いてみますと、練習はきついけれども自分がどんどん成長していくのが分かるので面白い、休日が待ち遠しい、もちろん平日の部活動も一生懸命やっているのですが、そんな声を聞くことができました。あと、コーチの人柄も非常に良くて、話しやすいという話も聞いております。本校が検証させていただいたのですが、プラスのことしか見当たらないかなというところが今の私の感想です。

### 【議長】

ありがとうございました。地域移行のメリットとして専門的な指導を受けられるということがあると思うのですが、それが結果に出ているという意見でありました。最後に、全体的な意見やお気づきになられたことはありますでしょうか。

では、続きまして、本日、国や県の動向や近隣市町の状況も踏まえて、オブザーバーとしてご参加いただいております濱谷様よりお話をお願いします。

### 【オブザーバー】

本日は、お招きいただき、どうもありがとうございます。今日の熱心な話し合い、非常に参考になっております。私はこの4月からこういう立場になりまして、子供た

ちに不利益がないようにこの改革が進んでいくことを願っております。また、指導を続けたい兼職兼業をしたいという先生方、そこにやりがいを持っている先生方にとっても、気持ちよくこの移行の中で指導を継続できるような形になっていくといいのではと思いながら、見守りながら一生懸命動いているところです。

5月、私が担当している佐倉市教育委員会を含めた北総地区16市町すべての担当の方とお話しさせていただきましたし、5月の末にはその方々に県の方に集まっていたら、1日中話し合いの場を持ちました。

そこですぐ感じたのは、各市町の状況はかなり異なり、財政の状況も違いはあるのですが、県の補助はいただきながら、この改革を進めていきたいというようなご意見をいただきまして、それを県の方に意見として伝えております。

あと、自治体が主導する地域移行による地域クラブの条件で大会参加が可能だということを県が謳っておりますが、その通りになっていないというご意見もいっぱいいただきました。これに関しましては小中体連の会長さん、並びにこの支部3支部の会長さんや役員の方の所を回って、「そういうことがないようにできるだけお願いします。」とお願いしてきました。また、それと合わせまして、小中体連主催とか、協会主催とか、主催する大会でやり方が違ってくると思いますが、いわゆるスポーツ協会、昔の体育協会がやっているやり方だと、学校名がないと参加させられないとかいうことも出てきます。それに対して、クラブ化したために出られない大会が出てきております。佐倉市でも拠点校部活動の方で実際にそういう問題があったということで、佐倉市からも「このようなことがないようにしていただきたい。」とありましたので、このことも県の方に北総からの意見ということで出させていただいて、6月ごろですが、県の方から教育委員会を通しまして、県のスポーツ協会を通して、できるだけ県の小中体連のやり方に合わせて各種目のスポーツ協会の方の大会もそれに準じてやれるように努力してくださいという通知文が行っているはずですが、ですから、今後、同じような形で佐倉市から参加できないということがあるときは、それに対して意見を言うことができると思います。ただ、これは意見しか言えません。最終的に決めるのは協会側の方ですから。協会側の決めたルールでやるしかない現状はあるのですけれども、でも、県の方がそうやって動いてくれて、北総の各地域の市町の担当の方の意見も聞いてくれて、ちゃんと県の教育委員会が動いてくれて、こちらの方も子供たちに不利益がないように動いているところだと思います。

佐倉市の方なのですが、16市町回っていて、とても感じるころなのですが、す

ごくチームワークがいいと思います。ここでいう指導課ですが、どこの市町もこの指導課に相当する課が中心となってこの改革を進めているようですが、ただ、他の課ですとか、あるいは、財政関係の協力がなかなか得られないで苦しんでいる市町も多いです。そういった中で佐倉市は他の課の協力が非常に厚いので、この改革も進めやすく、成果として表れているのではないかと感じています。ここでもいろいろな意見があがったのだと思うのですが、指導者についてオクスベストフィットネスが一生懸命マッチングしていただいている中で、指導者が学校の教員から、地域の中から出てくる中で不安な部分があるというのは私の方に届いているところです。そこをどう上手くやっていくかは、今後の課題になってくるかと思います。学校側としては、今まで築いてきた人間関係というのもありますから、仕事が少なくなるかもしれませんが、不安もあると思います。少しずつ改善していかなくてはいけない中で、佐倉市は非常にありがたいことにオクスベストフィットネスが入ってきて、地域移行がすすめやすくなってきているが、だんだん種目数も増えていくわけで、オクスベストフィットネスが担当する指導員を探すのも大変になってくると思います。私が今、16市町、また、小中体連の中心となる方と話し合っている中で感じていることなのですが、やはりこの地域移行が完全に落ち着くまでは、学校が主体的に関わっていかないといけないのではないかとということです。令和4年度にこの協議会を発足してくださいと言ったときの県からの要望の中には、校内準備委員会というものを必ず組織してくださいということが出ていました。ただ、現実問題として、この校内準備委員会を設けている学校はかなり少ないです。教頭先生の仕事になってしまっている学校が多いです。市や業者から降りてきたものに対して教頭先生が連絡しては、学校の特性に応じた主体的な地域移行には絶対なりません。教職員の中には、不満を持ったまま、納得いかないまま、保護者・子供たちの中にも納得がいかないまま気がいたら地域移行がされていたというのはどうかなと思います。今、オクスベストフィットネスが非常に一生懸命やってくれていますが、学校側の方でぜひ準備委員会の方を準備していただいて、今回は校長会からもこの検討会に参加していただいておりますが、このことを学校に投げかけていただきたいです。中学校で新しい組織を設けることは非常に大変なことだし、時間も作れないと思います。それならば、中学校の中の企画会議を準備委員会として扱って、企画会議の中で少しでもこの地域移行のことについて話し合っただき、うちの学校に適した地域移行はどうすればよいのか、指導員については、オクスベストフィットネスが準備していただいている指導員で納得ができる

のかということも含めて、子供たちにとっても親にとってもやっぱりよりよい地域移行にしていっていただけるといいのかなと、色々な所を回りながら思っている所です。

それと、もう一つ、各市町どこも頭を悩ませているのが吹奏楽部、あるいは、美術部です。吹奏楽部は、音楽室で楽器があるからやれているところがあるますが、実は、7月に入ってから吹奏楽連盟の地区の理事長さんとか会長さんと話し合いをしています。県内には楽団が50団体ぐらいあるが、受け皿になってもらえるかということ非常に厳しいところです。今、吹奏楽や音楽を志す人たちの夢を途絶えさせないためにも学校の音楽室や楽器が使える状況を何とか実現させてもらいたいと思います。学校と音楽室と楽器、これがないと吹奏楽部の地域移行は難しいということが意見として出てきています。

あと、美術関係も忘れてはいけません。今、佐倉市立美術館を会場に印旛郡市美術部展が開催されています。これは、各中学校の美術部の先生方が主催して、企画して、土曜日も日曜日も張り付いて運営して、賞まで与えられて、全国までつながっています。そこらへんの改革も、これだけ進んでいる佐倉市に目を向けてもらいたいと思っています。

ただ、特に小中体連の方々、慌てるといけないのではないかと考えております。県の小中体連の会長含め、皆さんがこの地域移行に協力していこうという気持ちを持っています。ただ、各市町が競うように急いで急いでということは、非常に危険性を孕んでいます。決して子供たちに不利益がないように、そして、子供たちにとって本当によりよい指導者がマッチングされるように、学校も主体的に関わりながら動いていくと良いのではないかとこのところ、何かまた協力できることがあれば連絡していただければと思いますので、よろしくをお願いします。

#### 【議長】

貴重なお話、ありがとうございました。せっかくお集まりいただいておりますので、今後進めていく上で必要な視点や留意する点について、また、本日の会議の感想についてでも結構ですので、外部委員の方からご発言をお願いいたします。

#### 【委員】

これから指導員を全11中学校に増やしていくことを考える上で、任せられる指導者がどれぐらいいるのか懸念していたところですが、他の学校の指導者などを活用で

きることもわかって、腑に落ちたところです。できる限り協力させていただきたいと思います。

#### 【委員】

本校では、先程もお伝えいたしました、子供たちが部活動をやりたいという方向に動いております。土曜日、日曜日だけではなくて、平日もお願いしたいぐらい、保護者も含め、そこまでの流れになってきております。今の流れを大事にしながら、学校として主体的に関わっていける地域移行にしていかなければと改めて思いました。佐倉市には、近くに順天堂大学もありますし、若い力も活用できるのではないかと個人的には思っております。実際、コーチの中にも一人いますが、そういうところも人材発掘の範疇の一つにできるのではないかと思いました。

#### 【委員】

私は、文化部の代表として参加させていただいており、私は吹奏楽部の顧問をしております。実際に部活動の地域移行が進み、どこか別の場所で活動を行うことを考えると、剣道部の生徒などは送り迎えが当たり前で別の場所で活動を行うという現状がありますが、吹奏楽部で行うことを考えた時、どこにあるか知らない中学校で活動を行うと言われた場合、行き方もわからないのですごく不安であるし、仮に平日もそのような状態になるのであれば、活動時間や終了後の帰宅などどうなっていくのだろうかとか子供たちからは声が上がっていました。私としてはこれから説明があると思うよとしか答えられなかったです。

質問になるのですが、柏市では吹奏楽部も動いていると聞いております。オークスベストフィットネスはどのように指導員を募集し、大規模な人数をどのように練習させることができているのでしょうか。

#### 【オークスベストフィットネス】

柏市の方では、吹奏楽部について10月からの開始という計画になっており、指導員の募集をほぼ完了しております。クラブ配置につきましては、各校1クラブ生み出すということで、21校ありますので、21クラブ存続させるという方法を選んでおります。人材募集につきましては、全体で今60名の吹奏楽の関わりがある方、内20名が教職員から手を挙げていただいている、一般の方は40名です。ただ、配置に

つきましては、やはり専門性、楽器の専門性ですとか、ピアノなど扱うものによって指導員の方の適材というところがあると思いますし、講師と呼ばれたりする機会があるということですので、そういった場合は巡回で専門の方を定期的に集めたりして、そこで楽器を習ったりするという機会をつくったりですとか、仕組みから作っております。そのような形で柏市の方では進めております。

また、千葉市の方は、8月中旬から開始をさせていただくような流れになっております。千葉市の方は、全部で10校、吹奏楽が8校、演劇が2校ということで進めておりまして、吹奏楽については約20名ほど指導者が手を挙げてくださっておりますので、各校1人は配置をするというところですが、先程少しお話がありましたが、実際に1桁の吹奏楽部員の学校もございます。そういったところについては、拠点校というところを少し検討しながら、まずは1クラブずつという受け皿の中で、拠点校活動をうまく織り交ぜていこうということで、実験的に行っていこうということで今、仕組みを整えている段階です。以上となります。

#### 【委員】

初めてこういう会議に参加させていただきますが、こういった形で部活動地域移行が進んでいくということを改めて身近に感じさせていただきました。自分としても現場の意見を聞いて、何か協力できることができればと思いました。

#### 【委員】

中学生の頃、関東大会に行きまして、顧問の先生のお陰で、推薦で高校に進学することができました。スポーツをやってその先につながるような人もいるし、そのためには指導者がよくなるとうまくはならないし、今の教職員の働き方改革も理解します。なので、そこはうまく行政がアウトソーシングして、協働して、オリンピック選手が育つような子供を作れたら、僕は成功ではないかなと思います。

#### 【委員】

大変難しい事業であると思います。主体は子供ですから、子供がどう思うかということが大事であると思います。問題は、指導者の人数を広げた時に面接ですとか、報酬など対応しきれないことも出てくると思います。机の上で話し合っているだけでは、解決してくことはできません。実際に途中で検証していかななくてはいけないと思いま

す。検証できるシステムをどこかに置いておかなければ、保護者、子どもの声を吸い上げることができないと思います。あとは、予算の確保をどのような形で進めていくかだと思います。

#### 【副会長】

先程、臼井中の陸上の話をしていただきまして、指導者として入っているのがうちの大学の学生で、非常にお褒めの言葉をいただきましたこと、大学に戻ったら伝えたいと思います。その一方で、二人ともよく話すのですが、二人とも共通で言っているのが、気持ちよく学校に行けるということです。それは、教員や生徒の皆さんが非常にウェルカムな気持ちで受け入れてくれるってということがとても嬉しいというか、モチベーションにつながることからすると、単に派遣ということだけでなく、やはり教育機関ですので、人と人の繋がりということがあるのかなと思います。そういう目に見えない部分というものが実は成果につながってくるということもありますし、保護者は子供のちょっとした変化というものを敏感に感じていらっしゃると思いますので、そういった意味では、非常に良い事例になっているのではないかと思います。私の方は、他市町村や東京でも同様の委員会や協議会に携わっており、共通することは人材不足です。如何にして指導者を集め、育成するかが難しい。もう一つは場所です。拠点校をどこの場所にするのかということでもあります。幸い、千葉県につきましては、オクスベストフィットネスが非常に頑張っていてコーディネートをして、人の配置であったり、場所の設定であったり、本当に事業としては成功しているのではないかと考えております。一方で、地域性ということがポイントになります。例えば、あるところでは中学校の学級数が各学年6クラスある、でも、ある学校は各学年1クラスというように、過疎が進んでいる所と人口が集中しているところがあるということもあります。それから、例えば、野球部で2年生は20人いるが、1年生は3人しかいない、こういった部活もあるわけで、そうすると2年生が引退した後に野球部がなくなってしまうことになるわけです。地域性や個々の対応ということが非常にあるということからすると、こういった形でそこら辺を集約するのかっていうところが大変難しいのかなと思います。そういった意味では、学校の中での予測や、こういった組み合わせならできるといえるであろうというようなことも考えられるのではないかと思います。特に東京の方は、学校単独の1校で例えば野球ができるなんていうことはほぼないです。どこかしらと必ずチームを合わせないと、サッカーやバスケット、野球はできないとい

うようなところがたくさんあります。そういったところで、部員数をどういう風に調整するのかといったところも、特に集団のスポーツをこういった形で運営するのかというところもポイントになってくると思います。そういった意味では、いわゆる今、佐倉市でやられている拠点校方式というのは、一番スタンダードなやり方だとは思いますが、例えば、拠点校方式に準ずるような新しい佐倉スタイルということがあってもいいのかなと思います。具体的に言うと、過疎の地域は合同にし、人口が集中しているところは1校単独にする、そういった色合いということもできるのかなと思います。そのあたりのことを、特に学校の中の連携の中でやっていただきたいと思っております。県の方の指針の中で、予算をつけていただいて、これから実証事業が進んでいくとは思いますが、いろいろな市町村で実証事業が進んできており、概ね良い反応が多く、丁寧に見ていただいている所が多いです。ただ、先程申し上げましたように、これがすべてになったときにこの丁寧さがどれだけ担保できるか一番の大きな課題になるかと思しますので、そのあたりは、私もじっくりと時間をかけて丁寧にやる方がいいのかなという持論をもっております。

【議長】

ありがとうございました。それぞれのお立場から貴重なご意見をいただきました。事務局はこういったご意見を踏まえながら、慎重かつ確実に事務を進めていただくようお願いいたします。最後に今後のスケジュールについて、事務局からお願いいたします。

【事務局】

今年度、本検討会ですが、3回予定しております。2回目ですが、11月中旬から下旬を予定しております。今年度のこの検討会の1つ大きな目的として、検討内容にもありますが、推進計画について、皆様の貴重なご意見をいただきたく、今年は考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。3回目は3月下旬を予定しております。その都度、事業の進捗状況ですとか、検証、それから課題等もご報告できればと思っておりますので、また案内をお出しいたしますので、ぜひご出席の方をよろしくお願いいたします。

5 閉会
------

【議長】

それでは、第1回佐倉市部活動地域指導事業検討会を閉会いたします。皆様議事進行へのご協力、ありがとうございました。